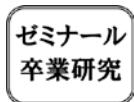


科目名: <b>ゼミナール(問題解決入門) 欧陽ゼミ</b>		<b>ゼミナール 卒業研究</b>	科目コード	EC03
担当講師: 欧陽 菲			単位	4(2)
			配当年次	3
<b>科目の概要</b> 「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。				
履修の前提となる科目		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		科目名:
科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成(資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。			
<b>成績評価の方法</b>				
出席と最終成果物の内容を評価します。				

科目名: <b>ゼミナール(問題解決入門)齊藤ゼミ</b>		<b>ゼミナール 卒業研究</b>	科目コード	EC03
担当講師: <b>齊藤 聡</b>			単位	4(2)
			配当年次	3
<b>科目の概要</b> 「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。				
履修の前提となる科目		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成(資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。			
<b>成績評価の方法</b>				
最終成果物の内容を評価します。				

科目名: <b>ゼミナール(問題解決入門)齊藤ゼミ</b>		科目コード	EC03
担当講師: 齊藤 保昭		単位	4(2)
		配当年次	3

科目の概要

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

履修の前提となる科目  あり  なし 科目名:

科目の到達目標

①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成(資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。

②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。

成績評価の方法

通常の授業態度と最終成果物の内容から評価します。

科目名: <b>ゼミナール(問題解決入門)小林ゼミ</b>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>ゼミナール 卒業研究</b> </div>	科目コード	EC03
担当講師: 小林 久司			単位	4(2)
			配当年次	3
<b>科目の概要</b> 「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。				
履修の前提となる科目		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成(資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。			
<b>成績評価の方法</b>				
通常授業態度と最終成果物の内容から評価します。				

科目名: <b>ゼミナール(問題解決入門)末崎ゼミ</b>		<b>ゼミナール 卒業研究</b>	科目コード	EC03
担当講師: <b>末崎 裕康</b>			単位	4(2)
			配当年次	3
<b>科目の概要</b> 「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。				
履修の前提となる科目		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成(資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。			
<b>成績評価の方法</b>				
プレゼンテーション・発表資料の内容・ゼミ内での討議への参加状況・成果物(ゼミ論文)の内容に基づき、総合的な評価を行います。				

科目名: <b>ゼミナール(問題解決入門)佐々木ゼミ</b>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>ゼミナール 卒業研究</b> </div>	科目コード	EC03
担当講師: 佐々木 理恵			単位	4(2)
			配当年次	3
<b>科目の概要</b> 「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。				
履修の前提となる科目		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成(資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。			
<b>成績評価の方法</b>				
最終成果物の内容を評価します。				

科目名: <b>ゼミナール(問題解決入門)佐藤ゼミ</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <b>ゼミナール 卒業研究</b> </div>	科目コード	EC03
担当講師: <b>佐藤 美香子</b>		単位	4(2)
		配当年次	3

**科目の概要**

「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。

**履修の前提となる科目**

あり  なし

科目名:

**科目の到達目標**

- ①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成(資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。
- ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。

**成績評価の方法**

最終成果物の内容を評価します。

科目名: <b>ゼミナール(問題解決入門)柳原ゼミ</b>		<b>ゼミナール 卒業研究</b>	科目コード	EC03
担当講師: 柳原 愛史			単位	4(2)
			配当年次	3
<b>科目の概要</b> 「卒業研究」の前提科目として、研究テーマ設定や成果物作成の基本的な展開方法に関する体系的な学習を、テーマ別のクラスに分かれて実施する。学習は、①生じている現象(結果、事実)の把握・問題の発見(不具合の明確化)、②問題の共有化(関係する者が等しく問題と考える)、③問題認識(解決すべき問題の明確化)などの「問題の認識」のプロセスにフォーカスして進める。約5カ月間の履修期間に5回程度の会合(面接授業)を開講し、討議やプレゼンテーションを行って、その成果として5,000字程度の成果物を作成する。				
履修の前提となる科目		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
科目の到達目標	①研究活動方法としての問題解決プロセス(アプローチ方法、課題形成、仮説の設定、論理の展開など)と論文構成(資料・情報の収集、整理、引用など)に関する知識を習得できる。 ②マネジメントに関する知識に基づき設定した自分自身の「研究テーマ」について、問題解決プロセス・論文構成の知識を活用して、一定水準の「成果物(ゼミ論文)」を作成できる。			
<b>成績評価の方法</b>				
出席と最終成果物の内容を評価します。				